

加賀宝生の魅力

ろうそく能 鑑賞会

演目と
装束着付の解説
藪 克徳

装束着付
佐野弘宜

狂言
「狐塚」
炭 哲男

ろうそく能
「鶺鴒飼」
佐野玄宜



2025

9/27 (土)

14:30開演
[13:30開場]
17:00頃終演予定

会場・お問い合わせ

石川県立能楽堂

〒920-0935 金沢市石引4丁目18-3

Tel・Fax 076-264-2598

【受付 9:00~17:00(月曜日は休館日 ※祝日を除く)】

料金 **2,500円**

【全席自由】高校生以下無料

※満席の場合、当日券は販売いたしません。チケットはお早めにお買い求めください。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。入場券は石川県立能楽堂でお求めください。
※都合により出演者が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※公演中の撮影・録音は固くお断りいたします。

チケットのお求め

石川県立能楽堂 (Tel 076-264-2598)

石川県立音楽堂チケットボックス (Tel 076-232-8632)

香林坊大和プレイガイド (Tel 076-220-1332)

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は公演日の3日前までとなります。

写真：(公社)金沢能楽会提供

オンライン予約は
こちらから →



主催：いしかわの伝統文化活性化実行委員会

石川県文化振興課内 〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 Tel 076-225-1372 / Fax 076-225-1496

令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



内容

■ 演目のあらすじ、みどころ解説 藪 克徳

■ 能装束着付の解説 解説 藪 克徳 装束着付 佐野 弘宜

能「鶉飼」の装束着付の様子を解説付きでご覧いただけます。

休憩

■ 狂言「^{きつね}狐塚^{づか}」

【出演者】

【シテ】太郎冠者 炭 哲男

【アド】主人 清水 宗治

【小アド】次郎冠者 中尾 史生

【後見】山田 譲二

【あらすじ】

狐塚の田を鳥が荒らすので、主人は太郎冠者に鳥を追うように命じます。太郎冠者は鳴子を鳴らしながら鳥を追っていると、やがて日が暮れてしまいます。そこへ心配した次郎冠者が様子を見にきますが、太郎冠者は次郎冠者に化けた狐だと思い次郎冠者を捕らえます。また主人も心配して様子を見にきますが、同じように狐だと思い込み主人も捕らえます。捕らえた2匹の狐に松葉を燻べて正体を現せようとしたり、鎌を借りてきて皮を剥いたりしようとするが…

写真(公社)金沢能楽会提供



火入れ

■ ろうそく能「^う鶉飼^{かい}」

【出演者】

【シテ】佐野 玄宜

【ワキ】北島 公之 【ワキツレ】渡貫 多聞

【間】能村 晶人

【笛】室石 和夫 【小鼓】住駒 俊介

【大鼓】飯嶋 六之佐 【太鼓】麦谷 暁夫

【後見】松田 若子 福岡 聡子

【地謡】佐野 由於 島村 明宏 藪 克徳

佐野 弘宜 松本 博 田屋 邦夫

【あらすじ】

旅の僧たちは石和川に赴き、川岸の御堂に宿る。夜、鶉を休めるために鶉使いの老人が御堂に現れる。僧の一人が、二、三年前にも似たような鶉使いに会い、殺生をいましめ家でもてなしを受けたことを話すと、老人は、自分はその時の鶉使いの亡者であると名乗り、殺生禁断の場所で鶉を使い殺されたと語り、鶉を使う様を見せて消え去った。供養を行う僧の前に地獄の鬼が現れ、あの鶉使いは本来、無間地獄へ墮ちるところだったが、僧をもてなした功德により罪を赦し極楽へ送ると語り、法華經の功德を賛美する。

写真(公社)金沢能楽会提供



石川県立能楽堂

アクセス
金沢駅 兼六園口(東口)6番のりば
北鉄/バス 出羽町バス停より徒歩3分



石川県立能楽堂 公演・イベント情報

金沢能楽会 10月定例能

【日時】10月5日(日) 13:00開演(12:00開場)

【内容】能「三輪」福岡聡子、狂言「宗八」炭光太郎、
能「小袖曾我」島村明宏 藪克徳

能楽体験ワークショップ

一シテ、ワキの違いと役割一

【日時】11月1日(土) 13:30~15:00

【講師】高橋憲正、渡貫多聞 【定員】20名程度



公式HP



公式X

加賀宝生の魅力

ろうそく能

鑑賞会

会場

2025 9月27日(土)
石川県立能楽堂

時間/14時30分~17時頃(13時30分開場)